



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場取引所 東名

上場会社名 リンナイ株式会社

コード番号 5947 URL <https://www.rinnai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 弘康

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 瀬瀬 泰生

TEL 052-361-8211

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

2019年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	160,361	△1.5	13,240	7.3	13,849	△2.1	7,990	△9.2
2019年3月期第2四半期	162,750	1.9	12,338	△11.4	14,145	△5.7	8,802	△6.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 5,864百万円 (11.0%) 2019年3月期第2四半期 5,281百万円 (△55.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	155.46	—
2019年3月期第2四半期	171.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	430,762	324,913	70.3
2019年3月期	430,885	320,696	69.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 302,686百万円 2019年3月期 299,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	46.00	—	48.00	94.00
2020年3月期	—	48.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	48.00	96.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	356,000	2.3	32,000	3.6	34,000	2.0	21,000	2.5	408.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	51,616,463 株	2019年3月期	51,616,463 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	217,339 株	2019年3月期	216,771 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	51,399,424 株	2019年3月期2Q	51,399,954 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2019年11月7日(木)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかに景気が回復しているものの、欧州や中国での経済成長の鈍化や米中間の通商問題の動向など、先行き不透明な状況で推移しました。また国内経済においては、企業収益や雇用情勢が改善するなど緩やかな回復基調が続いたことに加え、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要により消費は上向きました。

国内の住宅関連業界は、新設住宅着工戸数において賃貸住宅を中心に伸びが鈍化しているものの、リフォームや住宅設備機器の買替えは消費税率引き上げに伴う駆け込み需要によって増加基調となりました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「G - s h i f t 2020」の2年目にあたり、「熱と暮らし」「健康と暮らし」をキーワードに、グローバル市場で生活レベルの向上に寄与していくことや、既存商品やサービスの提供だけでなく、自社のコア技術に新しい技術を取り込み応用発展させた独自の商品・サービスを創出すべく取り組みを進めてまいりました。販売面につきましては、中国や韓国などの給湯事業が前年を下回り減収となりました。損益面は、国内における増収効果や原価低減活動による収益改善などで営業利益は増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,603億61百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益132億40百万円（前年同期比7.3%増）となりましたが、経常利益は円高による為替差損の影響などにより138億49百万円（前年同期比2.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益はリンナイ 코리아において経営改善のための早期割増退職金を計上したことによって79億90百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

〈日本〉

ビルトインコンロやガス衣類乾燥機の販売が堅調に推移したことに加え、消費税率引き上げによる駆け込み需要があったことで、日本の売上高は855億57百万円（前年同期比4.7%増）となりました。また、増収効果に加え、原価低減活動による収益改善によって営業利益は90億48百万円（前年同期比40.9%増）となりました。

〈アメリカ〉

利便性の高いタンクレス給湯器が認知拡大していることに加え、ハイグレードの商品となる高効率給湯器の割合が増えていることによってアメリカの売上高は157億66百万円（前年同期比11.0%増）となりました。また、昨年度、戦略的に投じた販促費用の減少もあり営業利益は6億81百万円（前年同期比67.6%増）となりました。

〈オーストラリア〉

主力商品となるタンクレス給湯器の販売好調に加え、貯湯式給湯器の全国展開や、取り扱い店舗が拡大しているエアコン販売が順調で、オーストラリアの売上高は122億90百万円（前年同期比1.3%増）となりました。しかし、現地通貨安による仕入コストの上昇や現地生産拡大費用の増加により、営業利益は5億33百万円（前年同期比56.3%減）となりました。

〈中国〉

景気減速に伴う住宅設備市場の悪化により給湯器の販売が減少したことや、農村部におけるボイラー需要の鈍化により、中国の売上高は188億91百万円（前年同期比19.8%減）、営業利益は19億3百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

〈韓国〉

景気低迷による市場の縮小や他社の安価攻勢により主力商品であるガスコンロやボイラーの販売が減少し、韓国の売上高は137億38百万円（前年同期比14.1%減）、営業損失は2億34百万円となりました。

〈インドネシア〉

主力商品であるテーブルコンロにおいて市場の動きに力強さがなく、インドネシアの売上高は48億28百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益は3億78百万円（前年同期比39.0%減）となりました。

(参考1) 機器別売上高の内訳

機器別	前第2四半期累計期間 (2018年4月1日 ～9月30日)		当第2四半期累計期間 (2019年4月1日 ～9月30日)		増 減		前期 (2018年4月1日 ～2019年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
給湯機器	95,585	58.7	90,686	56.6	△4,899	△5.1	202,630	58.2
厨房機器	40,235	24.7	41,676	26.0	1,441	3.6	88,322	25.4
空調機器	8,698	5.3	9,376	5.8	677	7.8	19,642	5.6
業用機器	4,094	2.5	3,962	2.5	△132	△3.2	8,452	2.4
その他	14,136	8.7	14,659	9.1	523	3.7	28,974	8.3
合 計	162,750	100.0	160,361	100.0	△2,389	△1.5	348,022	100.0

(参考2) 海外売上高

	前第2四半期累計期間 (2018年4月1日～9月30日)			当第2四半期累計期間 (2019年4月1日～9月30日)		
	アジア	その他の 地域	計	アジア	その他の 地域	計
I 海外売上高 (百万円)	53,091	32,208	85,300	45,025	33,589	78,614
II 連結売上高 (百万円)	—	—	162,750	—	—	160,361
III 海外売上高の連結売上高に 占める割合 (%)	32.6	19.8	52.4	28.1	20.9	49.0

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億22百万円減少し4,307億62百万円となりました。また、負債は43億39百万円減少し1,058億49百万円となり、純資産は42億16百万円増加し3,249億13百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は70.3%となりました。

キャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ95億92百万円増加し1,257億25百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

主に営業利益の確保による資金の増加、仕入債務の減少による資金の減少等の結果、営業活動によって得られた資金は85億86百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

主に投資有価証券の売却及び償還による収入等により、投資活動によって得られた資金は48億27百万円（前年同期は3億67百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

主に配当金の支払による支出等により、財務活動の結果支出した資金は34億60百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月9日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	140,264	150,353
受取手形及び売掛金	67,687	70,187
電子記録債権	9,290	6,834
有価証券	17,126	5,727
商品及び製品	28,988	29,435
原材料及び貯蔵品	16,728	16,991
その他	2,281	2,305
貸倒引当金	△1,476	△1,614
流動資産合計	280,891	280,221
固定資産		
有形固定資産	82,854	84,666
無形固定資産	5,743	3,727
投資その他の資産		
投資有価証券	36,912	37,481
その他	24,541	24,720
貸倒引当金	△58	△56
投資その他の資産合計	61,395	62,146
固定資産合計	149,993	150,540
資産合計	430,885	430,762
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,446	19,311
電子記録債務	32,057	28,319
未払法人税等	4,863	3,631
賞与引当金	4,540	4,383
製品保証引当金	3,947	3,727
その他の引当金	916	670
その他	21,577	23,858
流動負債合計	88,350	83,901
固定負債		
環境対策引当金	2,255	2,255
その他の引当金	109	96
退職給付に係る負債	10,401	9,804
その他	9,073	9,791
固定負債合計	21,838	21,947
負債合計	110,188	105,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,459	6,459
資本剰余金	8,756	8,756
利益剰余金	276,143	282,704
自己株式	△1,864	△1,868
株主資本合計	289,495	296,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,599	5,357
為替換算調整勘定	△488	△2,775
退職給付に係る調整累計額	4,529	4,051
その他の包括利益累計額合計	9,640	6,633
非支配株主持分	21,560	22,226
純資産合計	320,696	324,913
負債純資産合計	430,885	430,762

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	162,750	160,361
売上原価	109,507	108,508
売上総利益	53,242	51,853
販売費及び一般管理費	40,904	38,613
営業利益	12,338	13,240
営業外収益		
受取利息	466	579
受取配当金	395	270
為替差益	421	—
その他	600	338
営業外収益合計	1,882	1,188
営業外費用		
支払利息	0	21
為替差損	—	341
固定資産除却損	51	135
その他	23	79
営業外費用合計	75	578
経常利益	14,145	13,849
特別利益		
補助金収入	69	—
特別利益合計	69	—
特別損失		
特別退職金	—	712
固定資産圧縮損	69	—
特別損失合計	69	712
税金等調整前四半期純利益	14,145	13,137
法人税、住民税及び事業税	4,305	4,072
法人税等調整額	△437	△237
法人税等合計	3,867	3,835
四半期純利益	10,277	9,301
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,475	1,310
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,802	7,990

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	10,277	9,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	601	△242
為替換算調整勘定	△5,350	△2,716
退職給付に係る調整額	△247	△477
その他の包括利益合計	△4,996	△3,436
四半期包括利益	5,281	5,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,781	4,980
非支配株主に係る四半期包括利益	500	883

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,145	13,137
減価償却費	5,410	5,565
売上債権の増減額 (△は増加)	3,692	3,407
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,103	△1,710
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,180	△7,079
その他	697	△541
小計	12,661	12,779
利息及び配当金の受取額	837	888
補助金の受取額	196	254
利息の支払額	△5	△26
法人税等の支払額	△5,355	△5,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,334	8,586
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△17,678	△20,095
定期預金の払戻による収入	18,059	19,372
有形固定資産の取得による支出	△7,367	△4,631
投資有価証券の取得による支出	△3,915	△2,648
投資有価証券の売却及び償還による収入	10,511	13,157
その他	23	△327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△367	4,827
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,363	△2,466
非支配株主への配当金の支払額	△1,367	△840
その他	△40	△153
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,771	△3,460
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,322	△610
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,872	9,342
現金及び現金同等物の期首残高	101,697	116,133
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	21	249
現金及び現金同等物の四半期末残高	104,592	125,725

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

一部の在外子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて四半期連結貸借対照表に資産及び負債を計上しております。

当該会計基準の適用にあたり、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	アメリカ	オースト ラリア	中国	韓国	インド ネシア	計			
売上高										
外部顧客への売上高	81,736	14,202	12,138	23,549	15,989	5,211	152,827	9,923	-	162,750
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,801	-	73	718	508	318	20,419	1,303	△21,723	-
計	100,537	14,202	12,211	24,267	16,497	5,529	173,246	11,227	△21,723	162,750
セグメント利益	6,422	406	1,220	2,095	187	620	10,952	1,538	△152	12,338

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	アメリカ	オースト ラリア	中国	韓国	インド ネシア	計			
売上高										
外部顧客への売上高	85,557	15,766	12,290	18,891	13,738	4,828	151,072	9,288	-	160,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,208	-	72	780	354	234	19,651	1,096	△20,748	-
計	103,766	15,766	12,363	19,672	14,093	5,063	170,724	10,385	△20,748	160,361
セグメント利益又は 損失(△)	9,048	681	533	1,903	△234	378	12,311	1,259	△330	13,240

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。